

一か月間の地域研修を終えて

順天堂大学医学部附属順天堂医院 初期研修医 2年 伊西健祐

私は今回の地域研修で五戸総合病院にて一か月間勤務させて頂きました。

病棟管理や内科外来、救急外来対応、手術にも参加させて頂き、本当に様々な知識や手技を経験できたと思っております。

しかし今回の研修を通して特に実感したのがそれぞれの患者さんやご家族に合わせた医療を提供することの大切さ・難しさや地域医療へ貢献できることの多さです。

これまでの大学病院の勤務では指導医の方針に沿って検査のオーダーや加療を行ってききましたが、今回の研修では自分が主治医として患者さんの方向性を決めるという経験をさせて頂きました。

それに当たって自分で患者さんやご家族と方針の決定を行いました。人それぞれ重視する物事が本当に違うのだと実感しました。

五戸総合病院ではご高齢の患者さんが特に多く、お看取りの方針の方が多くいらっしゃいました。しかしその中でもやはり患者さんに積極的な加療をご希望される方がいらっしゃいました。患者さんの背景や病態を踏まえてどのような医療を提供するのかを相談することにこれまであまり慣れていなかったため私にとって苦労した点ではありましたが、やはり医療はそれぞれ考え方が違う患者さんやご家族が納得していただける終着点を決めることが重要であり、それらを行った上で医療を提供させて頂くのも医師として重要な役目なのだ痛感いたしました。

これまでも患者さんやご家族に納得していただける医療の提供は当たり前のことと考えておりましたが、やはり自分で行ったことで本当に実感できたことだと思います。

また地域医療に貢献できることの多さについては訪問診療や関連施設への往診でも学ばさせて頂きましたが、個人的に印象に残っているのは、看取りが出来ない施設に入所中の方が病状の悪化のため入院されるというケースを何件も経験したことです。研修病院の都合上これまでは病院への入院は急性期の病態を落ち着かせて、自宅に退院していただくかリハビリ目的に転院していただくことといったものが私の中ではスタンダードとなっておりましたが、ほとんど加療を行わずに看取り目的に入院していただくことも患者さんやご家族、地域の施設の方々にとっても大切な事であることを実感しました。

五戸総合病院での研修は慣れない環境の中院長先生や同期の研修医、看護師さん、コメディカルの方々に色々教えて頂いたことで乗り切れたものだと思っております。

今後も医師として働いていく際に今回の経験を役立てていこうと思います。

今回は様々な経験をさせて頂き、本当にありがとうございました。